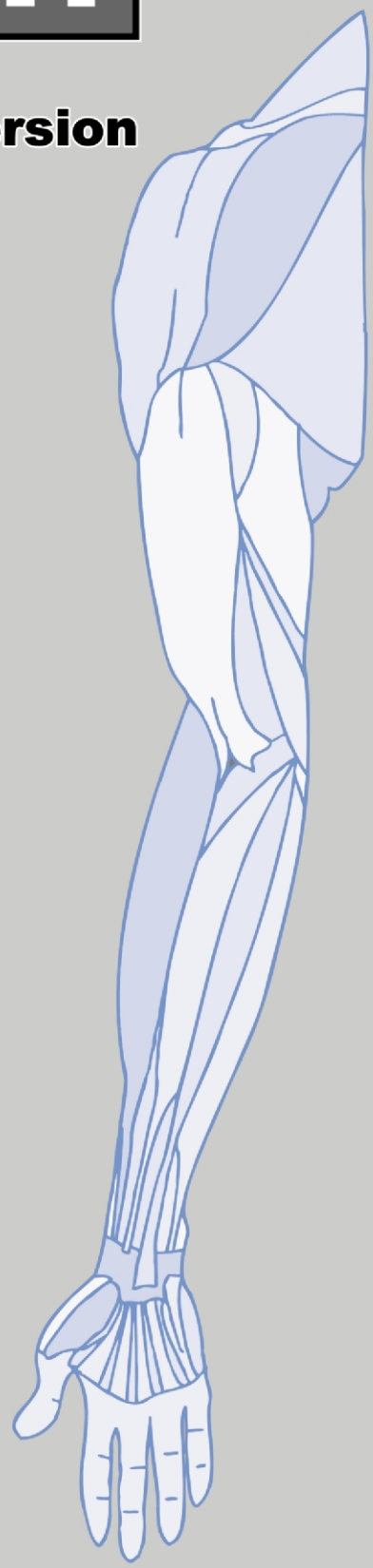
DISABILITIES OF THE ARM, SHOULDER AND HAND

THE DASH

The JSSH Version



上肢障害評価表（DASH）の記入について

この質問表は、あなたの手の症状や能力（どの程度できたか？）についてお聞きするものです。
それぞれの質問に対して、先週１週間の状態を、該当するものに○をつけて答えて下さい。
その中にあなたが先週１週間で実際に行っていないものがあった場合は、どの程度にできたかを想像して、できるだけすべての質問にお答え下さい。

各動作を行うにあたって、左右どちらかの手あるいは両手を使ったかは関係ありません。あなたがどの程度できたのかに○をして下さい。（あなたが普通は右手で字を書いていて、先週は何かのトラブルで左手で書いていたなら、左手で字を書く動作について最も当てはまる項目に○をつけて下さい。）

お名前＿＿＿＿＿＿＿＿　年齢＿＿＿

男 / 女　利き腕　右 / 左

記入日　年　月　日

以下は当方で記入します。

診断＿＿＿＿＿＿＿＿

手術日　年　月　日

手術方法＿＿＿＿＿＿＿＿

カルテ番号＿＿＿＿＿＿＿＿

DASH score＿＿＿＿＿＿＿＿

Disability/symptom＿＿＿＿＿＿＿＿

Sports/music＿＿＿＿＿＿＿＿

Work＿＿＿＿＿＿＿＿

© Institute for Work & Health 2006. All rights reserved

Japanese translation courtesy of Functional Evaluation Committee, JSSH, Japan

DISABILITIES OF THE ARM, SHOULDER AND HAND

先週１週間に次にあげる動作ができたかどうか、該当する状態の番号を○で囲んで下さい。

１．きつめのまたは新しいビンのフタを開ける
1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

２．書く　1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

３．カギを回す　1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

４．食事の支度をする　1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

５．重いドアを開ける　1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

６．頭上の棚に物を置く　1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

７．重労働の家事をする（壁ふきや床掃除など）
1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

８．庭仕事をする　1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

９．ベッドメーキングまたは布団を敷く
1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

10．買い物バックや書類かばんを持ち運ぶ
1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

11．重い物を運ぶ（5 kg 以上）
1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

12．頭上の電球を交換する　1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

13．洗髪やヘアードライヤーを使用する
1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

14．背中を洗う　1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

15．頭からかぶるセーターを着る
1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

16．食事でナイフを使う　1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

17．軽いレクリエーションをする（例：トランプ、編み物、碁、将棋など）
1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

18．肩、腕や手に筋力を必要とするか、それらに衝撃のかかるレクリエーション活動をする（ゴルフ・テニス・キャッチボールをする、ハンマーを使うなど）
1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

19．腕を自由に動かすレクリエーション活動をする（フリスビー、バドミントンなど）
1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

20．交通機関の利用が自由にできる（移動の際に）
1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

21．性生活をする　1：全く困難なし　2：やや困難　3：中等度困難　4：かなり困難　5：できなかった

22．腕・肩・手の障害が、家族、友人、隣人、あるいは仲間との正常な社会生活をどの程度妨げましたか

1：まったくなかった　2：ややあった　3：中等度あった　4：かなりあった　5：極度にあった

23．腕・肩・手の障害によって先週の仕事・日常生活に制限がありましたか

1：制限なし　2：やや制限　3：中等度制限　4：かなり制限　5：極度に制限

先週１週間の症状について、該当する番号を○で囲んで下さい。

24．腕・肩・手に痛みがある

1：まったくなかった　2：ややあった　3：中等度あった　4：かなりあった　5：何もできないほど

25．特定の運動をしたときに腕・肩・手に痛みがある

1：まったくなかった　2：ややあった　3：中等度あった　4：かなりあった　5：何もできないほど

26．腕・肩・手がチクチク痛む（ピンや針を刺したような痛み）

1：まったくなかった　2：ややあった　3：中等度あった　4：かなりあった　5：何もできないほど

27．腕・肩・手に力がはいらない

1：まったくなかった　2：ややあった　3：中等度あった　4：かなりあった　5：何もできないほど

28．腕・肩・手にこわばり感がある

1：まったくなかった　2：ややあった　3：中等度あった　4：かなりあった　5：何もできないほど

29．腕・肩・手の痛みによって眠れないときがありましたか

1：まったくなかった　2：ややあった　3：中等度あった　4：かなりあった　5：眠れないほど

30．腕・肩・手の障害のために、自分の能力に自信がないとか、使いづらいと思っていますか

1：まったく思わない　2：あまり思わない　3：何とも言えない　4：そう思う　5：非常に思う

スポーツ / 芸術活動（選択項目）

楽器の演奏やスポーツをするにあたって、あなたの肩・腕・手の障害がどの程度影響しているか以下の質問に答えて下さい。もしあなたがひとつ以上のスポーツもしくは楽器演奏などをしている場合は、あなたが最も重要だと考えている活動について答えて下さい。

その活動は：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□　私は楽器の演奏やスポーツをしません。（以下の１から４の質問には答える必要はありません）

先週１週間で、あなたの状態を最も示している番号を〇で囲んで下さい。
なにか困難がありましたか？

１．スポーツ、もしくは楽器演奏においていつもの活動ができましたか

１：全く困難なし　２：やや困難　３：中等度困難　４：かなり困難　５：できなかった

２．腕、肩、手の痛みのために活動がどの程度制限されましたか

１：全く困難なし　２：やや困難　３：中等度困難　４：かなり困難　５：できなかった

３．自分の思うように活動ができましたか

１：全く困難なし　２：やや困難　３：中等度困難　４：かなり困難　５：できなかった

４．いつもと同じ時間できましたか

１：全く困難なし　２：やや困難　３：中等度困難　４：かなり困難　５：できなかった

仕事（選択項目）

あなたの仕事（家事を含む）をするにあたって、あなたの腕・肩・手の障害がどの程度影響しているか以下の質問に答えて下さい。

あなたの仕事は：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

□　私は働いていません。（以下の１から４の質問には答える必要はありません）

先週１週間で、あなたの状態を最も示している番号を〇で囲んで下さい。
なにか困難がありましたか？

１．仕事において、いつもの活動ができましたか

１：全く困難なし　２：やや困難　３：中等度困難　４：かなり困難　５：できなかった

２．腕・肩・手の痛みのために仕事が制限されましたか

１：全く困難なし　２：やや困難　３：中等度困難　４：かなり困難　５：できなかった

３．自分の思うように仕事ができましたか

１：全く困難なし　２：やや困難　３：中等度困難　４：かなり困難　５：できなかった

４．いつもと同じ時間仕事ができましたか

１：全く困難なし　２：やや困難　３：中等度困難　４：かなり困難　５：できなかった

DASH

DASH の採点法

2002 年の春に、the DASH Outcome Measure の採点法を改訂し導入しました。この新しい方法は代数的には元の方法と同じですが、欠損値を扱う際にもっと簡単に効率よくわかりやすく使えるようになりました。以上の理由で改訂された方法を採用してくださるようお勧めします。しかし、結果的にスコアは同じになるので、どちらの方法を使っても大丈夫です。

DASH は二部構成です。機能障害 / 症状に関する質問（30 項目の質問があり、それぞれ 1-5 点が当てられます）とスポーツ / 芸術活動、仕事に関する選択項目（それぞれ 4 項目の質問があり、各項目に 1-5 点が当てられています）です。

機能障害 / 症状 スコア

点数を計算するためには、30 項目中少なくとも 27 項目に回答してもらう必要があります。答えを得られた回答の点数を単純に合計し平均して、5 点満点の点数を出します。その値から 1 を引き 25 を掛けて、100 点満点に換算します。この換算をすると 0-100 点で評価された他の尺度と比較しやすくなります。点数が高ければ高いほどより障害が大きいことを示しています。

$$\text{DASH機能障害/症状のスコア} = \left[\frac{(\text{n個の加算点数})}{\text{n}} - 1\right] \times 25$$

n は回答があった項目数

選択項目（スポーツ / 芸術活動、仕事）スコア

それぞれ 4 項目からなりますが、質問の性質上、回答する人もいれば回答しない人もいます。この選択項目の目的は、プロのスポーツ選手、プロの演奏家、仕事をする人達が、日常生活上では影響がなく、先の DASH 機能障害 / 症状スコアではあらわれないが、専門的な活動においてはどの程度の障害があるかを明確にすることです。

上で述べた手順に従い選択の 4 項目の点数を計算します。点数を計算するためには、4 つの質問すべてに回答してもらう必要があります。各回答の点数を単純に合計し 4（項目の数）で割ります。それから 1 を引き 25 を掛けて、100 点満点の点数を計算します。

$$\text{DASH選択項目スコア} = \left[\frac{(\text{4個の加算点数})}{4} - 1\right] \times 25$$

回答がない項目の取り扱い

もし 10%を超える項目（つまり 4 項目以上）で回答が無記入の場合、DASH 機能障害 / 症状 スコアは計算できません。このルール（無回答の項目が 10%を超えてはいけない）に従い、スポーツ / 芸術活動、仕事のセクションではたった 4 項目しかないので、一つの欠損値も許されません。この欠損値のルールは、オリジナルの採点法にも改定の採点法にも適応されます。

©Institute for Work & Health 2006. All rights reserved
Japanese translation courtesy of Functional Evaluation Committee, JSSH, Japan